



## 夢と笑顔、懸命に歩み続ける南っこの育成

白水台地の陽光「さん」

6月に学校が再開して一月が過ぎました。感染症予防対策をしながらのこの一月は、子どもたちにとっても職員にとっても貴重なものとなりました。振り返りますと学校が再開した当初は、子どもたちは、目を輝かせ生き生きと登校して学習に向かい合っていました。しかし、子どもたちの心や体は正直で、一度緩んだ生活リズムや学習意欲はそう簡単には取り戻せません。日にちが経つにつれて、疲れとともに目の輝きや学習意欲が薄れてきました。これは自然ななりゆきです。しかし、ここをどう建て直すかが人間の力です。先日、テレビで空腹の魚と餌を与えた魚の戦い実験があっっていて、実験結果では空腹の魚が強いという結果が出ていました。人間にも同じことが言えるとするならば、いろいろと恵まれた環境よりも、そうでない方が思わぬ力を発揮すると思われます。

「ハングリー精神」、「ピンチはチャンス」ということが大事になるかと思えます。そういう意味では、南小の子どもたちは、地域で育まれたねばり強さや内に秘めた闘志があります。徐々に、気持ちも行動も前向きになってくると思えます。本校の職員も、そのような子どもたちの姿を見て、意欲がわく授業の工夫、分かる授業の工夫、時には、前向きな気持ちにするための言葉かけを行っています。

さて、新型コロナウイルス感染症予防対策のために、本年度の本校教育の基本経営構想について説明できていませんでしたが、学校も徐々に落ち着いてきておりますので、学校便りで少しずつ基本経営構想について紹介していきたいと思えます。まず、学校教育目標は次のとおりです。

### 「夢と笑顔」懸命に歩み続ける南っこの育成

- 夢について：子どもたちが夢や希望をもてる教育、子どもたちの夢や希望に近づける教育をめざします。
- 笑顔について：安心・安全で学びに最適な学習環境ををめざします。
- 懸命に歩み続けるについて：どんなことがあっても、何とかして生き抜いていく力を身につけ、夢や希望に向かって学び続ける児童を育成します。



#### 【今後の主な学校行事の予定について】

新型コロナウイルス感染症予防のために、行事を延期したり、中止したりしております。第2波・第3波の心配もありますが、現時点での予定についてお知らせします。

- ①家庭訪問は、本年度は実施しません。  
代わりに、7月末に希望による教育面談を学校で実施予定。
- ②授業参観・オープンスクールはしばらく見合わせます。
- ③運動会は、時間・内容を縮小して、感染症対策を行った上で10月3日(土)実施予定。

- ④5年生の水俣学習・集団宿泊教室は、県の全体の水俣学習が中止になりましたので、校内での学習をします。集団宿泊教室は、近場の菊池少年自然の家で日帰りの野外活動体験実施予定。
- ⑤6年生の修学旅行は、バス大型、部屋人数を少なくする等の感染症対策を行った上で実施予定。
- ⑥1年生～4年生の見学旅行は、感染症対策を行った上で実施予定。



